



第32期

横浜市社会教育委員会議

第1回 2018年11月30日（金）10:00~12:00



横浜市の社会教育の特徴

- 公民館がない
- 社会教育主事（社会教育を行う者へ指導・助言をする）は教育委員会事務局の設置はないが、18区の行政区地域振興課に社会教育主事(補)が置かれている
- 地域振興課に市民活動との複合化施設である、市民活動・生涯学習支援センターが市民の窓口となっている（情報提供、相談、交流コーナー・機材の貸し出し等）

歴史的背景に見る横浜市の特徴

時代	事項
戦後	GHQによる土地の接收、急激な人口増加で、学校建設が優先、公民館等の社会教育施設を設置せず
1950年代後半	「 <u>婦人学級</u> 」*という形で市民へ継続的な学習の提供
1954年	<u>社会教育協力委員制度</u> （市協力委員、地域協力委員）⇒（青少年指導員制度として引き継がれる）
1970年	各区に社会教育主事が配置
1979年～	「 <u>婦人学級</u> 」⇒「 <u>成人教育学級</u> 」
1994年～）	「 <u>生涯学級</u> 」（等名称を変えながら実施）

※館を持たず、学級運営委員方式で社会教育の団体を育成→「ヨコハマ方式」（全区実施は2003年頃まで）

「学級」の特徴

- 市民が生活や、社会の課題に自主的に取り組む
- 市民が企画・運営を行う
(その過程で仲間づくり、会議の運営方法、資金集め等のノウハウを学ぶ)
- 学級生同志の学び合いを中心とした学習形態
- 地域でまちづくりの核になっていく人材を育成する



地域活動をしている方、始めたい方のための

はぐくみ塾

～あなたのアイデアを形にしませんか～

こんな講座があったらいいな... 企画の立て方を学びたい...
色々な人と知り合える場がほしい... 仲間がほしい...
今までの経験や地域で活かしたい... 地域を知りたい...

地域で活動を始めたいけれど、きりかたしな... 1人の経験に、あなたも時間を費やしてグループ運営の手法や補助金申請のノウハウを身につけませんか?

はぐくみ塾は地域で「何か」を始めたい人の『学び場』です。

第1期 5/8 9:00-12:00 火	オリエンテーション	第2期 5/15 9:00-12:00 火	“ほんわか”な学びの場をつくる
第3期 5/22 9:00-12:00 火	第4期 5/29 9:00-12:00 火	第5期 6/5 9:00-12:00 火	第6期 6/12 9:00-12:00 火
企画をたてよう			

本講座を修了した

運営委員養成講座

学ぶ 国際交流 ことのはじめ つながる

一部保育付 5回講座

神奈川県には外国にルーツを持つ方がたくさん住んでいます。いろいろな国の文化や習慣を知って自分ができる活動を始めてみませんか?

はぐくみ塾 平成 29 年度区民企画型講座

「庭に猫の糞尿が」「近所に猫がたくさんいるのはなぜ?」「猫が近所に糞がまわってくる!」「車道の猫に困っている、そんな方にもぜひ参加してほしい講座です!」
猫のライフスタイル・家猫と野猫(のらねこ)の違いを学び、猫の正しい知識を身に付け、周りの人に伝えられる力を身につけませんか?

考えてみよう!

地域の猫講座

猫との HAPPY な生活の為に必要な事を楽しく学ぶ講座です

日時	内容	会場	講師
11/29 (水)	開講式/猫の基本を知ろう!	県立がや市民活動センター	獣医師

大人ののための

畑で楽しむ やさしいの時間

さつまいもを 作りませんか!

土づくりから収穫まで、農家から教わる講座です。昔ながらの暮らしにも触れながら、スズキな仲間との野菜づくりにあなたもチャレンジしてみませんか?

1 6/11(木)	2 6/18(木)	3 7/2(木)
4 7/23(水)	5 8/27(水)	6 9/24(水)
7 10/22(木)	8 11/19(木)	9 11/26(木)

講師 あらく農園 三枝 浜太郎さん ~プロフィールは裏面~
横浜市北部農政事務所 職員 (第1回)

時間 10:00~12:00 (講座日によって変わることがあります)

会場 / 神奈川県役所(6/11, 11/26) / あらく農園(3/18, 7/23, 8/27, 9/24, 10/22, 11/19)
会場 / 神奈川県在住で50歳以上の方 定員30名 ※先着多数の都合は別途
参加費 / 2,000円(企画型)

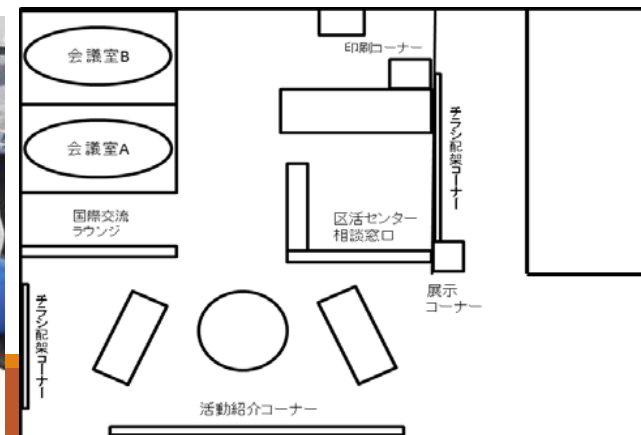
資料 4



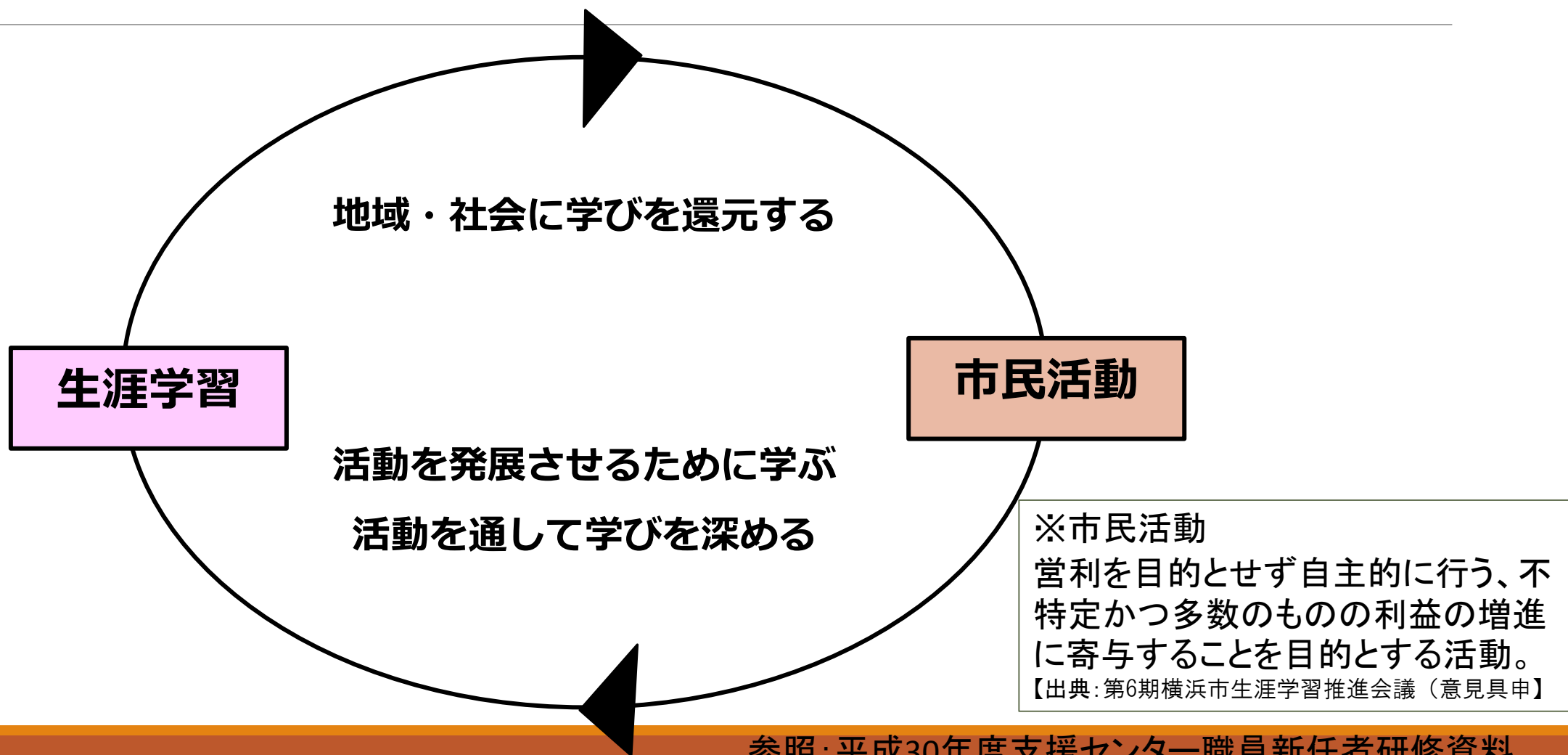
各区の社会教育施設（区版支援センター）

- 1994年 各区に「生涯学習支援センター」(市民へ学習の情報提供・相談・コーディネート等の設置開始)
- 2000年 NPO法、市民活動の推進が行政課題となる
- 2004年 「生涯学習支援センター」⇒「市民活動・生涯学習支援センター(通称:区版センター)」(2008年完了)

※1973年以降、地区センター条例により、
地区センター(80館)、
コミュニティハウス(直営83館、条例設置34館)



生涯学習と市民活動との関連 イメージ図



横浜市の社会教育施設と推進体制 (比較：相模原市)

	横浜市	相模原市
社会教育施設	<p>類似施設として社会教育コーナー 各区に生涯学習・市民活動支援センター設置 【関連施設】 地区センター・コミュニティハウスなど</p>	<p>公民館を設置</p>
職員体制	<p>【局】 教育委員会事務局生涯学習文化財課生涯学 習係が担当。生涯学習係長1名、職員7名、 生涯学習推進嘱託員1名</p> <p>【区】 生涯学習支援担当係長1名、 社会教育主事(補)1名、社会教育指導員1名、 支援センター相談員4名</p> <p>【関連部署】 ・市民局(市民活動)など</p>	<p>【公民館】 館長1名 館長代理1名 任期付短時間勤務職 員1～3名 公民館活動推進員 1～3名</p> <p>教育委員会に社会教 育主事を設置</p>

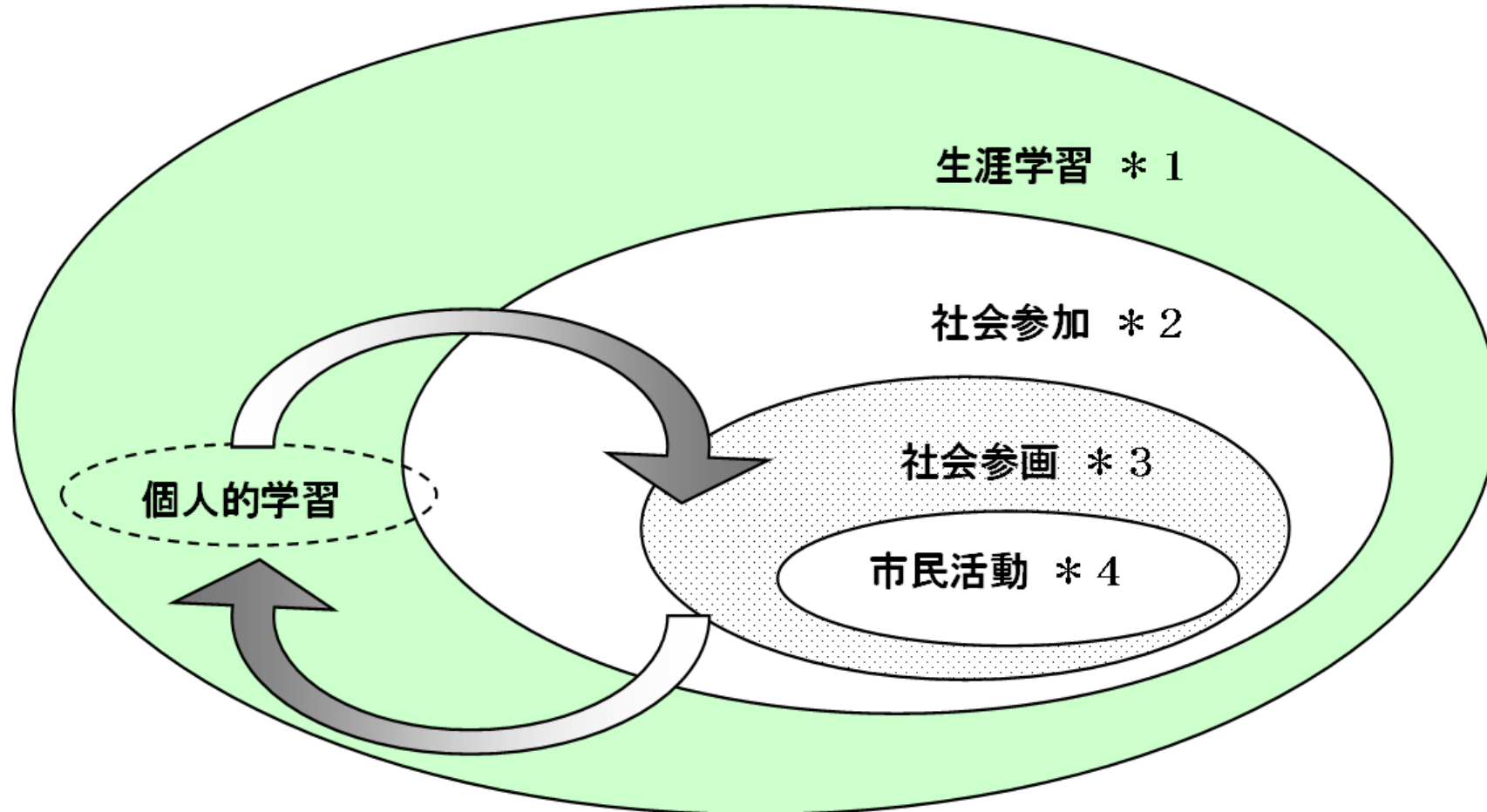
本市における 社会参加のすそ野の 拡大について



テーマを選んだ背景

- ・市新中期4か年計画原案の基本姿勢では「身近な地域の課題を解決するためには、地域の様々な団体・人々がつながり、お互い協力していくことが重要」と示されている。
- ・平成30年6月、成年年齢を20歳から18歳に引き下げる民法の一部改正により、若者の積極的な社会参加も望まれている。
- ・各区役所では23年度から29年度で、地域課題解決に取り組む人材育成事業（学級形式）の実施が14区（学級数97団体）から5区（学級数42団体）に減少している。

生涯学習と社会参画の関係イメージ



議論いただきたい内容

- ① 本市における社会参加を促すための施策方針
- ② 上記方針を受けた市社会教育行政における役割



横浜市の担い手育成に関わる事例紹介

教育委員会事務局/市民局/健康福祉局

事例 1 : 生涯学習関係職員研修

担当課 : 教育委員会事務局生涯学習文化財課

市民が主体的に地域課題の解決に向かう姿
を目指し、**生涯学習に関係する職員**に対して、
生涯学習の理念や社会教育の意義を共有する
とともに、地域課題の解決を担うグループの
立ち上げ、継続及び発展を支援するノウハウ
の提供などを行っています。

事例 1 : 生涯学習関係職員研修



生涯学習基礎研修 (H30.6.15)



港南区出前研修(H30.10.29)

事例 2 : よこはま地域づくり大学校

担当課 : 市民局市民活動支援課

市民が主体となつて、地域課題の解決を「点ではなく面で行う」ために、さまざまな団体・機関・学校・民間事業者などの協働がより促進されるよう、協働型地域経営リーダー（仮）を養成します。地域活動・市民活動のニーズに対応し、自治の力を市民相互のエンパワメントにより高めていくことを目的に実施しています。

事例 2 : よこはま地域づくり大学校



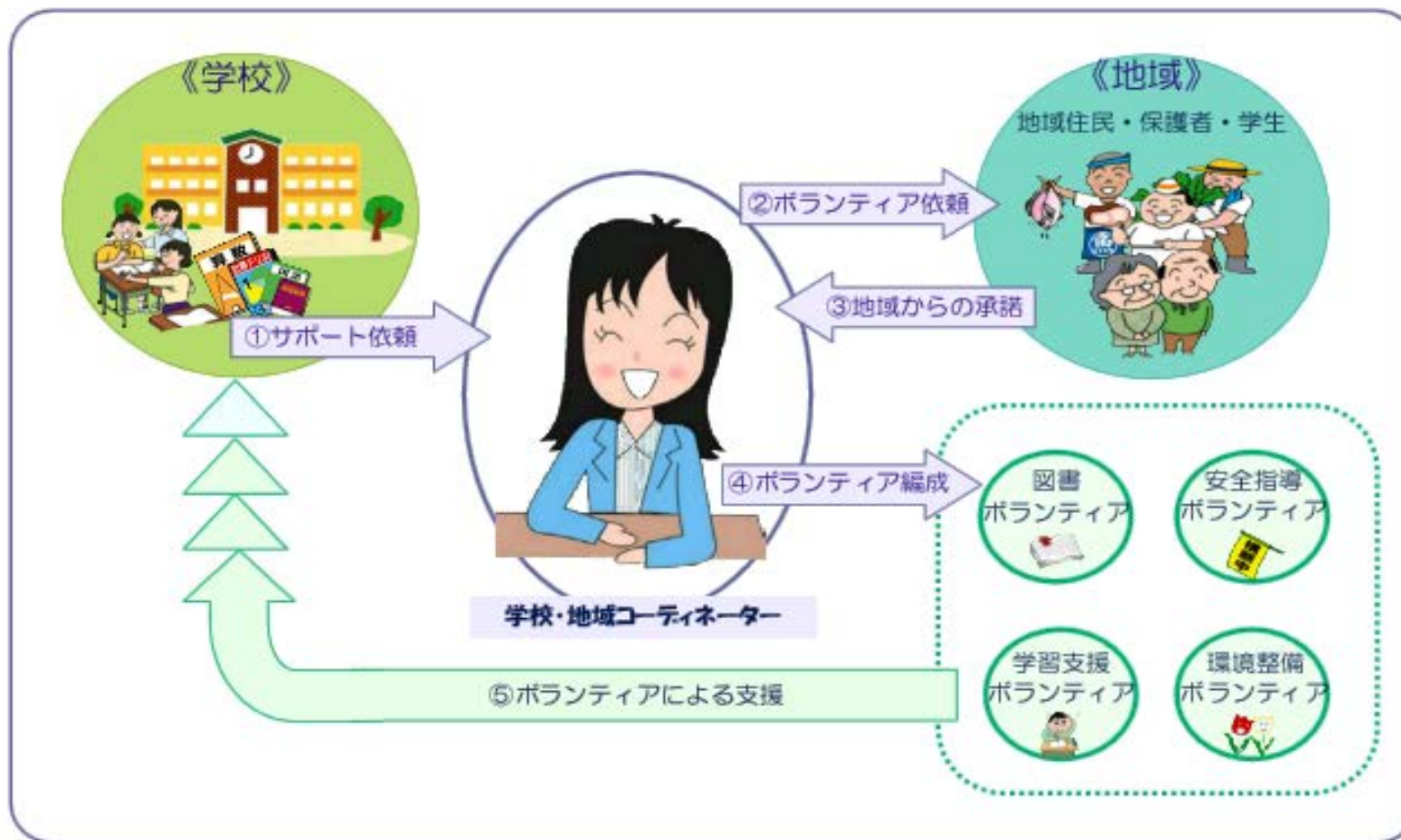


事例3：学校・地域コーディネーター 養成講座

担当課：教育委員会事務局学校支援・地域連携課

学校と地域の連携による教育支援を目的に、
そのパイプ役を担い、総合調整を行う
学校地域コーディネーターを養成します。

事例3：学校・地域コーディネーター養成講座



事例4：認知症サポーター養成講座

担当課：健康福祉局高齢在宅支援課

身近な家族や友人、自分自身が認知症になっても
今までどおり住み慣れた地域で、安心して暮らせる
よう、認知症の人と家族の応援者である「認知症サ
ポーター」になっていただき、「認知症サポ
ーター」のみなさまとともに認知症になっても安心して
暮らせるまちをつくっていきたいと考えています。

事例4：認知症サポーター養成講座



参照：横浜市永田地区センターHP (<http://nagata-cc.com/event/1352>)

会議スケジュール（予定）

回	時期	内容
第1回	平成30年（2018年）11月	第32期社会教育委員会会議発足 競技テーマの概要説明
第2回	平成31年（2019年）2月～3月	事例把握・情報収集
第3回	平成31年（2019年）6月	事業計画案検討
第4回	平成31年（2019年）10月～12月	32年度実施事業について
第5回	平成32年（2020年）2月	31年度実践からの考察
第6回	平成32年（2020年）4月	事業化へ向けた提言案作成
第7回	平成32年（2020年）7月	提言案の確認
	平成32年（2020年）10月	提言提出